

# 自分の目で見ること

校長 駒田 勝

さあ、皆さん。いよいよ待ちに待った異文化体験の始まりです。

今回の「シアトル海外研修」では、日本とは異なる文化や価値観に触れる中で、「戸惑い」や「不安」、「違い」や「疑問」等々を覚える場面がきっとあることでしょう。しかし、まさにその「違い」を実感することが、日本では決して味わえない異文化体験の醍醐味のはずです。この研修に参加したいと自ら手を挙げた皆さんのことから、持ち前の好奇心と探究心を存分に発揮し、異文化との出会いを大いに楽しんでくれるものと信じています。長い人生の中でも、このような機会は決して多くありません。まずは、この貴重な挑戦を後押ししてくださったご家族に感謝し、このチャンスを思う存分生かしてください。自らの目を見て、自らの肌で感じ、自らの言葉で世界を確かめてください。そして、この経験が未来に生きる皆さんの糧となり、世界へと一歩踏み出す大きなきっかけとなることを願っています。

さて、本校の国際交流事業は、姉妹校である国立台南女子高級中学とのサイエンス交流を柱とした SSH 事業「台湾サイエンスプログラム」があります。また、平成 19 年度（2007）にスタートした、シアトル市ローズベルト高校との相互訪問型交流プログラムも長年続いてきました。しかし、令和 2 年（2020）初頭からの新型コロナウイルス感染症の拡大に加え、相手校の日本語クラス廃止という事情も重なり、第 12 回研修（2019 年 3 月）を最後に交流は途絶えることとなりました。

一方で、令和 5 年度（2023）に本校の紹介動画をシアトル市近郊のイーストレイク高校へ送付したことを契機に、新たな交流の可能性が開かれました。昨年度末（2025 年 3 月）には、本校教職員 2 名が同校を訪問し、相互訪問型交流の再開に向けた協議が行われました。その結果、多くの関係者の熱意と尽力が実を結び、このように海外研修が再び実現する運びとなりました。この再開の背景には、本校関係者をはじめ、多くの方々の並々ならぬ努力があったことを忘れてはなりません。また、コロナ禍のために参加を願いながらも叶わなかった先輩たちの思いにも心を寄せ、皆さんには先輩の分まで世界を大いに学び、味わってきてほしいと思います。

次に、皆さんに必ず守ってほしいことを一つお伝えします。それは「研修期間中は先生方の指示に従い、事故なく、ケガなく、全員そろって元気に帰ってくる」ということです。皆さんが安心して研修に参加できるのは、ご家族の温かい理解と支えがあってのことです。今度は皆さんが、無事に帰ってくることでその期待に応えましょう。

なお、北米では感染力の極めて高いインフルエンザ変異株、いわゆる「スーパーインフルエンザ」が依然として増加傾向にあるとの報告もあります。健康管理と感染予防を怠ることのないよう、くれぐれも注意してください。

結びに、この度の研修参加にご理解とご協力を賜りました保護者の皆さま、交流再開に向けてご尽力いただいた地元関係者の皆さま、そして準備に奔走してくれた教職員の皆さまに、心より感謝申し上げます。

～ 一生の財産となる実り多き研修となりますように ～